

# きらめき通信

Vol.25

## 新春のお慶びを申し上げます



皆様、明けましておめでとうございます。

きらめきプロジェクトも平成19年より8年間継続することができました。

これも皆様のご協力の賜と心から御礼申し上げます。

昨年4月から総勢26名のきらめきスタッフでスタートを切っておりますが、年々参加される方々は増え続けており、医学部女子医学生の増加をきちんと反映しています。この8年間で保育園をはじめとして女性がキャリアを継続できるためのハード面は少しずつ整備されてきましたが、参加人数増加に対するソフト面での対応が追いついていない状況です。一つのチャレンジは歯科・医科の同窓会への協力依頼です。後輩へのご支援、励ましを頂けると幸甚です。

本年も初心にかえて活動を続けてゆきたいと思っております。皆様のご健勝とご多幸をお祈りしながら新年のご挨拶を申し上げます。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター  
副センター長 檜木 晶子

**INFORMATION!**

### ★スタッフ発表会開催決定★

日程：平成27年3月10日(火曜)11日(水曜)12日(木曜)

会場：九州大学病院外来棟2階ギャラリー

きらめきスタッフの一年の活動状況をポスター形式で貼りだします。

九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX: 092-642-5203

2015年1月(隔月発行予定)

MAIL: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>



## 日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクター（医師1名・歯科医師1名）を紹介します。

### 自己紹介

10年目の産婦人科医です。6年前に結婚し、現在は夫と2人の娘（5歳と2歳）の4人家族です。

### ☆きらめきプロジェクトに所属するまで☆

大学卒業後は、福岡市内の病院で初期臨床研修を行い、そのまま産婦人科の後期臨床研修医として残り、1年間勤務しました。その後は、結婚・出産や夫の異動をきっかけに、後期研修を2年残して常勤勤務から離れました。学生時代に運動部で鍛えた体力には自信があったのですが、仕事を続ける中で、産婦人科の激務と家庭を両立させるのは難しいと考えました。しかし、将来的には仕事を続けたいと思い、子宮がん検診の仕事や開業医の先生の元で外来業務を続けてきました。その中で、自分の経験の浅さを痛感し、産婦人科医としてもっと精進しなくてはいけないと思うようになりました。次女が幼稚園に入園する時期に、本格的に産婦人科医として経験を積み重ねようと思い、九州大学産婦人科に入局しました。臨床のランクが長く、また仕事と育児の両立に不安を抱えていたため、きらめきプロジェクトに所属することになりました。

### きらめきプロジェクトに所属して

現在は、大学の婦人科外来（一般再来）を週に2日（9:00-14:00）担当しています。残りの3日は、医局の関連病院などで勤務しています。大学では、多くの症例に携わることができる上、様々な症例について先輩方に相談することができるので、大変勉強になっています。医局の先生方には温かく受け入れていただいているので、短時間勤務を心苦しく思うこともありません。当直や時間外勤務がなく、週末はゆっくりと子供との時間を大切にできており、本当にありがたいと思っています。同じきらめき所属の先生方とは、スタッフミーティングといった交流会を通して、育児や保育所に関する情報交換をさせてもらっています。また、同じ境遇の女性医師の先生方が無理なく前向きに、仕事をする姿にいつも励まされています。

### 最後に

産婦人科領域では、近年の入局者のうち半数以上が女性であり、その先生方が結婚・妊娠を機に仕事を辞めてしまうので、産婦人科医療崩壊が起こるのではないかと懸念されています。私はかろうじて踏みとどまろうとしている一人ですが、同じように育児と仕事の間で葛藤している女性医師はたくさんいると思います。医学部に入学する女性が増えている現状を考えると、他科でも同じような状況は起こりうると思います。今後、女性医師によりよい環境を整えていけるよう、きらめきプロジェクトの更なる発展を祈っております。

### 自己紹介

2014年4月よりきらめきプロジェクトに参加させていただいている卒後12年目の歯科医師です。医師の夫と小一の長男、年中の次男と私の4人家族です。

### きらめきプロジェクトに応募するまで

九大病院第一口腔外科（顎口腔外科）にて2年間研修医として勤めた後開業医で1年間常勤として勤務しましたが、もう一度大学で勉強し直したいと考え、大学院（顎口腔外科）に進学しました。2年目に結婚し、出産育児のため休学しました。二人の男の子の出産育児に没頭する日々でしたが、気がつくとも4年もの月日が流れていました。やりかけたことをそのままにしておくことは出来ないと思い直し、長期ブランクに不安を感じつつも復学を決意しました。長い休学を暖かく見守ってくださった医局の先生方や直接指導してくださった先生方、また母の助けのおかげで昨年3月無事に学位を取得することが出来ました。大学院卒業までは兄弟一緒に保育園への行き帰りが可能でしたが、今春より長男が1年生になり生活パターンがバラバラになること、転居により通勤に時間がかかるようになったこと、夫が多忙で協力をほとんど得られないことなどを考え、きらめきプロジェクトに応募させていただくことにしました。

### 現在の仕事と生活

九大病院では口腔外科での専門外来に1日、周術期口腔ケアに1日勤務し、その他の日は外病院勤務や家事、子供たちの習い事の送り迎えなど自分のペースで仕事と家庭生活に取り組みする毎日を送っています。

### 最後に

きらめきプロジェクトのおかげで子育てをしながらも臨床現場から離れることなく、専門分野での論文発表や学会発表までも行うことが出来ました。また周術期口腔ケアに参加させていただき、大学病院に勤める歯科医としての新たな役割も経験出来ました。歯科医療は手先を使う細かな作業の多い職業です。結婚出産により仕事から離れてしまうと復帰にはかなりの努力と精神力を要します。このプロジェクトが今後も続き、一人でも多くの女性歯科医師が社会で活躍出来ることを願っています。

GOOD NEWS!

きらめきスタッフが、11月に日本矯正歯科学会認定医を取得しました！